

地域ごとの収集日にしたがって、午前6時から8時までに出してください

引っ越し、大掃除などで大量に出たごみは何回かに分けて出すか、直接、御所野の総合環境センターに持ち込んでください。ごみ処理手数料は、3月31日までは10kgごとに66円、4月1日からは10kgごとに78円となります

粗大ごみは、事前に大きさをはかり、**粗大ごみ専用電話tel(865)5300**
平日の午前9時～午後4時にご連絡ください。

4月から冷凍庫もリサイクルの対象に

4月1日から、冷凍庫が家電リサイクルの対象品に加わります。今までの洗濯機、テレビ、エアコン、冷蔵庫と同様に、買い替えの場合は新しい商品を買った店が引き取り、廃棄だけの場合はその商品を買った店が引き取るようになります。

買った店が遠い、すでにない、わからない場合などは、秋田廃棄物処理協会tel(895)7900か家電リサイクルセンターtel(863)3026へお申し込みください。

問い合わせ 廃棄物対策課tel(866)2943

資源化物

ペットボトル▶月2回収集

キャップをはずし、中を軽くすすいで出してください



出してよいペットボトルにはラベルや底にこのマークがついています。

空きびん▶月2回収集

酒類、ジュース類、ジャムなどのガラス製のものキャップをはずし、中を軽くすすいで、ごみ収積所にある緑色の回収箱へ出してください

空き缶▶月2回収集

ビール、ジュース、サラダ油、粉ミルク、菓子、缶詰などの缶中を軽くすすぎ、緑の透明指定ごみ袋に入れて出してください
缶の中にたばこの吸い殻などの異物は、絶対に入れないでください



ガス・スプレー缶▶月2回収集

完全に使い切った後、火の気のない風通しの良い所で穴を開けてください
収集車の火災防止のため、空きびんと同じ緑色の回収箱に出してください



金属類▶月1回収集

金属の割合が見た目で50%以上のもの
一辺の長さが50cmを超えるものは「粗大ごみ」
金属以外のものとの複合品で、判断がつかないものは「家庭ごみ」へ
石油ストーブは大きさに関係なく「粗大ごみ」

古紙▶月2回収集

古紙は、**紙ひも**で十字に束ねて、種類ごとに出してください。



新聞、折込広告 束ねてください

ダンボール 開いて束ねてください

紙パック

水洗いし、切り開き、乾かしてから束ねてください

雑誌、本、包装紙など

カタログ、パンフレット、コピー用紙、教科書など

お菓子の外箱、はがき、レシート、封筒(セロハンなどのついてないもの)、名刺などの小さい紙は、雑誌の間にはさんでください



使用済み乾電池▶月2回収集

筒型乾電池

透明の小袋に入れ、空き缶と一緒に透明指定ごみ袋に入れてください。

充電電池、ボタン式電池など

ビデオカメラ、コードレス電話、携帯電話、パソコンなどの充電式電池やボタン式電池などは販売店に返してください。

空きびん、空き缶、古紙、ガス・スプレー缶、使用済み乾電池は同じ日に収集

ごみの分別 秋田市ルール

ごみの分別については
廃棄物対策課tel(866)2943



キレイに分別しましょう

全国どこの地域にも、ごみの分け方、出し方には決まりがあります。
秋田市でのごみの出し方、もう一度よく確認しておきましょう。

家庭ごみ 週2回収集

生ごみ 食用油 チューブ製品
シャンプー、洗剤容器 発泡スチロール
ゴム製品 プラスチック製品
割れたびん・ガラス・せともの・蛍光灯・電球
紙おむつ 草木類 衣類 皮革製品 など



びん・ペットボトルの
キャップ は必ずはずして
家庭ごみへ出してください

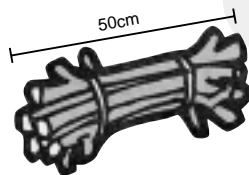


生ごみ
よ〜く水切り、
もうひとしぼり！



割れたガラスや
せとものなど

レジ袋に入れて「キケン」と書いて別に出してください



草木類

50cm以下の束にして2束まで

食用油

ポロ布や新聞紙にしみ込ませてください



紙おむつ



うんちは取り除いて、トイレに流してね！

資源化物じゃなく

これは 家庭ごみ！



油やソースなどのボトルは
「家庭ごみ」

食用油 ソース たれ
シャンプー 洗剤などのボトル

空きびんの中でも次のものは
「家庭ごみ」

割れたびん
化粧品のびん 塗り薬のびん



下記の紙類は再生できないので、
「家庭ごみ」

ティッシュ 写真 防水加工紙
内側がアルミ加工の紙バック
セロハン
紙コップなどのワックス加工紙
油紙 合成紙 裏カーボン紙
ビニールコート紙
感熱紙(ファクス用紙)
ノーカーボン紙 粘着テープ